

ピアレビュー委員会 (第5部会)

2019年度 (対象年度: 2017~2018年度) ピアレビュー報告書

評価対象組織	人間力創成総合教育センター
--------	---------------

基準2	内部質保証
-----	-------

総評	
0203	<p>毎年、各教員が「教員活動重点目標・自己評価シート」(2017年度は「教育活動重点目標・自己評価シート」)を作成、センター長による点検・評価を経て学長に提出しており、個人としての自己点検・評価が実施されている[0203a]。</p> <p>「学部等重点事業計画」における評価を学内内部評価として使用されており、人間力創成総合教育センター教員会議で、教員に共有されている[0203b]。2018年度より「学部等重点事業計画」のフォーマットが変わり、活動実績の記述欄が削除されていることを含めて、今後の組織としての「学部等重点事業計画」に関する自己点検・評価の方法についての検討が求められる。</p> <p>センターの運営に関する重要事項及び教養教育のあり方を審議するために設置された人間力創成総合教育センター調整企画会議が、学内内部評価の機能を担っている。本務教員と兼務教員が所属する組織上の事情も考慮できるが、内部質保証において調整企画会議と人間力創成総合教育センター組織の自己点検・評価委員会との関係を明確にすることが望まれる。</p>
長所・特色	
特になし。	
留意点	
<p>*各項に留意点レベルを記入</p> <p>【A】・・・緊急の改善を要する事項</p> <p>【B】・・・検討を要する事項</p>	
0203	<p>「学部等重点事業計画」に関する学長ヒアリングでの内容を調整企画会議で報告し、審議する必要性が課題として挙げられており、2018年度より「学部等重点事業計画」のフォーマットも変更されたことから、今後の組織として事業計画に対する自己点検・評価の方法・仕組みの検討が望まれる[0203b]。【B】</p>

2019年度（対象年度：2017～2018年度）ピアレビュー報告書

評価対象組織	人間力創成総合教育センター
--------	---------------

基準4	教育課程・学習成果（2）
-----	--------------

総評	
0404	<p>授業内容とシラバスの整合性については、「教員による授業自己評価」および「学生による授業評価」とともに「教務モニター制度による学生意見等によるヒアリング」で毎学期確認している[0404b, 0404c]とあるが、授業評価にはシラバスとの整合性を確認する質問項目は存在せず、教務モニターは任意の抽出で十分な評価[A]とは言い難い。2019年度より、授業評価の質問項目にシラバスとの整合性に関する設問ができたことから、今後はその結果を踏まえつつ「第三者点検」にも活用いただきたい。</p> <p>学生の主体的な参加を促す授業形態、授業内容、授業方法の取り組みについては、組織としての取り組みは難しく、「感想文」や「グループワーク」を行っている個々の科目に頼っている状況にある。幅広い内容の科目群を有するため、難しい点は理解できるが、今後、EP（教育プログラム）単位での取り組みや個人科目の取り組み例の共有の検討が望まれる。授業編成・ガイダンスにおいては、適切に実施されている[0404g, 0404h, 0404i]。</p>
0405	<p>「達成目標」に基づく成績評価については、学生による確認を願い出る確認期間を設けていることである程度の客観性を保つ努力をしているが、自ら客観性および厳格性について点検するシステムの検討の必要性を認識している。</p>
長所・特色	
特になし。	
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
0404	<p>学生の主体的参加をより一層促す授業形態・授業内容および方法の組織的対応・取り組みについて、検討を要することが望まれる。【B】</p>
0405	<p>自ら挙げられているように成績評価の客観性および厳格性について点検するシステムの検討（同一科目での成績評価の調整についての方法など）が期待される。【B】</p>

ピアレビュー委員会（第5部会）

2019年度（対象年度：2017～2018年度）ピアレビュー報告書

評価対象組織	人間力創成総合教育センター
--------	---------------

基準4	教育課程・学習成果（3）
-----	--------------

総評	
0406	シラバスの「授業達成目標」および「成績の評価基準」によって指標が定められている。その把握・評価については、各教員のアセスメントテスト（教場テスト、期末テスト）および学習成果の測定を含む評価（『魅力ある授業づくり』のシステム）で実施している。しかし、その授業で得られた学習成果を数値化可能な科目以外については、不十分であると判断する。当該センターの目指す人間力の具現化に関わる点でもあり、その把握と評価法についての検討が求められる。
0407	教育課程およびその内容・方法の適切性については、教員個人の授業運営だけの評価に留まっていると判断される。語学EP（教育プログラム）の一部を除いた教育課程の適切性について検討されている点が明確でない。今後は、学習成果を把握した点検・評価が望まれる。
長所・特色	
特になし。	
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
0406	0407 授業で得られた学習成果の把握と評価が明確になることで、教育課程の内容・方法の適切性が評価しやすくなることから、学習成果の把握と評価の検討が望まれる。【B】

ピアレビュー委員会（第5部会）

2019年度（対象年度：2017～2018年度）ピアレビュー報告書

評価対象組織	人間力創成総合教育センター
--------	---------------

基準6	教員・教員組織
-----	---------

総評	
0602 (1)	全学共通教育部より人間力創成総合教育センターへ改組されたが、専任教員数については適切に補充され維持されている [0602b, 0602c]。
0602 (2)	改組による人間力基礎教育部と人間力発展教育部の区分は、教育理念・目的がより明確となり、その教員配置も教育特性に応じた適切な編制となっている [0602c]。
0603	採用人事・昇格人事に関して、それぞれの「申し合わせ」を整備し[0603a, 0603b]、それにより適切な教員人事が行われていると考える[0603c, 0603d]。
0604 (1)	組織的なFD活動は教育プログラム毎に実施されており、その頻度はEPにより差があると分析されている [0604a]。
0605 (2)	教員組織の適切性に向けて取り組んでいるが、教学側の努力だけでは改善できない側面を含んでいると分析している。
長所・特色	
0602	人間力創成総合教育センターの人間力基礎教育部と人間力発展教育部の区分のもと、明確な教員組織の編制がなされている[0602c]。
0604 (1)	教職課程教育プログラムが専任教員によるミーティングを週1回の頻度で実施している点は高く評価できる[0604b, 0604c]。
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
0604 (1)	各教育プログラム毎のFD活動も重要であると思われるが、人間力創成総合教育センターで、あるいは人間力基礎教育部・人間力発展教育部の区分単位で、学際的なFD活動の実施を検討されたい。【B】

ピアレビュー委員会 (第 5 部会)

2019年度 (対象年度 : 2017~2018年度) ピアレビュー報告書

評価対象組織	人間力創成総合教育センター
--------	---------------

基準 7	学生支援
------	------

総評	
0702 (2)	学生の修学支援は、各教育プログラムで能力別補習、成績不振者への対応など詳細に実施し、適切な支援を行っている [0702a] [0702e] [0702f] [0702j] [0702k] [0702m] [0702m] [0702n] [0702o] [0702p] [0702q]。
0702 (2)	留学生、障がいのある学生への対応も適切に行われている [0702a] [0702c] [0702d]。
0702 (2)	スチューデントアシスタント制度を有効に活用している点は評価できるが、採用科目名や採用数に関する根拠資料が不十分である [0702i]。
0702 (2)	語学教育プログラム (英語 I, II) では、成績不振学生について、学科と情報共有し、連携した指導を行なっている点は評価できる。また、語学専用自習室の利用率が増加したが、この自習室に対する今後の取り組みについて検討している。
長所・特色	
0702 (2)	留学経験をもつ上級生をスチューデントアシスタントとして起用し、受講生にとっても励みになるような学習支援を実施している [0702i]。
0702 (2)	教養課題 EP (科学リテラシー) のメンバーは、正規の担当時間以外に積極的に学習支援を行なっている [07021]。
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
0702 (2)	科目によっては、問題をかかえた学生の状況を所属学科の教員と情報共有がなされていない可能性があるため、今後、情報共有のためのネットワークを検討されたい。【B】
0702 (2)	成績不振学生について、人間力創成総合教育センター (あるいは教育プログラム) がどの学部学科と連携し、どのような指導を行なっているかを記録として残しておく方がよい。【B】
0702 (2)	スチューデントアシスタントをどの科目で採用するかについて教育プログラム (あるいは人間力創成総合教育センター教員会議) で検討した内容を記録として残しておく方がよい。【B】

2019年度 (対象年度 : 2017~2018年度) ピアレビュー報告書

評価対象組織	人間力創成総合教育センター
--------	---------------

基準 8	教育研究等環境
------	---------

総評	
0802	教育研究に必要な環境は「学部等重点事業計画」により計画的に設備・機器の整備を実行し、各教育プログラムにおいて、適切な教室・施設等の割当や改善について要望が出され、検討されている[0802c][0802d][0802e][0802f]。
0806	各教育プログラムにおいて、会議等で教育環境の点検を行い、また、非常勤講師からの意見も吸い上げ、施設・設備について定期的に検討し、より良い教育環境等の改善・向上に努めている[0806a][0806b][0806c][0806d]。
長所・特色	
0806	各教育プログラムにおいて、非常勤講師と専任教員の間で教育研究等環境施設・設備の問題点等を話し合う機会をもつことは、教育現場を客観的に評価される良い機会である[0806b][0806c]。
留意点	
*各項目に留意点レベルを記入	
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
0806	教育研究等の環境改善に向けた会議が各教育プログラムで大小実施されているが、各改善内容が相互に共有できるよう議事録を残し、人間力創成総合教育センターとしてまとめることを検討されたい。【B】

ピアレビュー委員会 (第5部会)

2019年度 (対象年度: 2017~2018年度) ピアレビュー報告書

評価対象組織	人間力創成総合教育センター
--------	---------------

基準9	社会連携・社会貢献
-----	-----------

総評	
0902	<p>組織構成員の個人的努力による社会連携・社会貢献が種々実践されており、組織または教員グループによる社会貢献の事例もある[0902b, d, f, g, h, i, j, k, l, m]。</p> <p>例えば、「きつずせみなあ」は、20年以上継続的に実施され、参加者にはリピーターも多い様子がWeb公開されている記録・感想から読み取れる[0902b]。</p> <p>教員免許状更新講習については、大学側の要請で開講されるものではあるが、多くの所属教員が協力していることがわかる[0902n]。</p> <p>個人やグループの実績は多く認められるが、人間力創成総合教育センターが組織として取り組む社会貢献の充実を図る必要がある。</p>
長所・特色	
0902	「きつずせみなあ」を20年に渡り継続して実施している[0902b]。
留意点	
<p>*各項に留意点レベルを記入</p> <p>【A】・・・緊急の改善を要する事項</p> <p>【B】・・・検討を要する事項</p>	
0902	人間力創成総合教育センターが組織として実施または協力する社会貢献について、検討が必要である。【B】

2019年度（対象年度：2017～2018年度）ピアレビュー報告書

評価対象組織	人間力創成総合教育センター
--------	---------------

基準 11	大学独自の評価項目
-------	-----------

総評	
1120	<p>運営委員会・調整企画会議等を適度に開催し、現状と課題を議論し、各会議の議事録を作成していることから、部分的な点検がなされていることは確認できる。[1120b, 1120c, 1120d, 1120e, 1120f, 1120g, 1120h]。</p> <p>EP ごとの会議については、議事録等が作成されていないので、今後は適宜作成し、組織内での情報共有および点検に活用して頂きたい。</p> <p>組織改編以降、構成員の関係性が複雑化しており、情報の共有・交換等が難しいとの問題意識を持っておられることから、組織の円滑かつ透明性のある運営方法について更なる検討が望まれる。</p>
長所・特色	
	特になし。
留意点	
	<p>*各項目に留意点レベルを記入</p> <p>【A】・・・緊急の改善を要する事項</p> <p>【B】・・・検討を要する事項</p>
1120	<p>EP ごとの会議について、議事録等の記録を残し、情報共有および点検に活用して頂きたい。</p> <p>組織の円滑かつ透明性のある運営方法について更なる検討が望まれる。【B】</p>